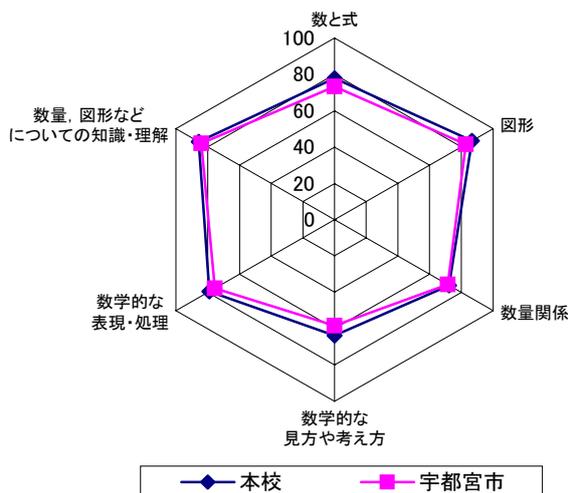


宇都宮市立上河内中学校第2学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	77.8	73.3
	図形	86.7	82.8
	数量関係	72.2	71.3
観点別	数学的な見方や考え方	63.8	58.4
	数学的な表現・処理	79.0	75.3
	数量、図形などについての知識・理解	85.6	83.9



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (77.8%)	・同類項をまとめること、多項式の計算は90%以上の正答率であった。文字式の値を求めること、2元1次方程式の解を答えること、連立方程式の計算は市より高くなっている。等式の変形、比例式を解くこと、文字式を使って数の性質を説明することなど、全体的に数と式については身につけているといえる。	・今後継続して、計算の反復練習をさせて、計算力を高めたい。数量の間の関係をとらえて立式する力、筋道を立てて考えたり、説明したりする力を身につけさせたい。
図形 (86.7%)	・市と比較すると3.9ポイント上回っている。ほとんどの問題が90%以上の正答率であった。三角形の合同の証明で合同条件を選ぶ問題が市と比べると上回っていたが、69%の正答率は十分とはいえない。	・証明の考え方を十分に理解していない生徒には、はじめに戻って理解の徹底を図りたい。2年生の図形では用語や定理など、覚えるべきことも多いので、それらを十分に理解し、それを証明等の中でつかえるように指導していきたい。
数量関係 (72.2%)	・1次関数の利用については平均して、市の平均と比べると4ポイント程度高い。1次関数の式をつくる問題は不十分である。	・1次関数の意味について再度復習させ、表、式、グラフの関係をしっかり理解させていきたい。さらに、具体的な場面で変数の間の関係を表や式、グラフに表すことで1次関数を利用する力を高めていきたい。